

## 第2回 JESUS (Japanese skill education for young gastroenterological Surgeons)を開催して JESUS 実行委員長 夏越祥次

### 1. 開催にあたって

第1回 JESUS が想定していた以上の盛り上がりを示し、アンケート結果でも満足度の高い回答が得られた。したがって、昨年と同様に外科医不足を少しでも解消するために、消化器外科セミナーを開催して、草の根運動を継続してい

くことが理事会で了承された。昨年と同様に初期研修医を対象として行うことにした。様々な機器を用いて、消化器外科手術の手技を体得してもらうことと、レクチャーでは化学療法、感染症、外科医の現状などを計画した。

### 2. 昨年の反省

前回のアンケート結果では、プログラム内容については概ね良好であったという意見が多くみられた。改善してほしい意見の中に次のようなことがあった。各プログラムにもう少し時間が欲しかった。グループ間の自己紹介の時間があればもっと嬉しかった。事前に対象学年をアナウンスして欲しかった。4、5年目の先生に

も講師として参加して欲しかった。女医のスタッフの先生がいらっしゃればより良かった。年に数回開催されてほしい。これらの意見を踏まえ、各グループの自己紹介をする時間を設けることや、女性外科医の参加、時間が足りなかった腸管吻合の手技を改良してビデオ撮影を再度行う、などが取り入れられることになった。

### 3. 開催までの道程

昨年のアンケート結果から日時、場所に関してはかなり好評を得ていたため9月上旬、場所は昨年同様熱海伊豆山温泉ハートピア熱海に決定した。ホテルの予約の関係から、第2回 JESUS は9月2日(金)、3日(土)で開催される運びとなった。広報委員会のメンバーは新たに大段秀樹先生、國崎主税先生、小林美奈子先生、柴田近先生、野添忠浩先生が新加入となった。また、JESUS 実行委員会には、恵木浩之先生、海堀昌樹先生、木村英明先生、土川貴裕先生が加わり、また、女性外科医として、広報委員の小林美奈子先生、協力講師として野原京子先生、和田範子先生が加入することになった。

第116回日本外科学会定期学術集会最終日の4月16日(土)に第1回広報委員会・JESUS 実行委員会の合同会議が開催された。日程の打ち合わせ、運営に関する事項などが確認された。JESUS2016 のコンテンツがホームページに掲載された。5月上旬に評議員にメルマガ配信を行い、5月中旬より参加申し込みを開始した。第1回 JESUS は募集期間が短く、参加者の集まりが心配されたが、今回は順調に参加者が登録さ

れ、最終的には参加希望が多くなり、キャンセル待ちの状況となったことは、うれしい悲鳴であった。セミナーに関しては、掛地吉弘先生(大鵬薬品工業株式会社共催)と三嶋秀行先生(日本化薬株式会社共催)、小林美奈子先生(ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社共催)、海堀昌樹先生から快諾が得られた。

参加者の締め切りの結果、最終的には105名の参加予定となった。キャンセルが1名あり、最終的な参加者は男性83名、女性21名の計104名であった。今回も北海道から九州まで日本全国から応募があった。

第71回日本消化器外科学会総会会期中の7月15日(金)に第2回広報委員会・JESUS 実行委員会の合同会議が開催された。最終的な委員の出欠席について、担当およびシナリオの確認が行われた。前回時間が足りなかった腸管吻合に関しては再度ビデオ撮りが行われ、参加者によりわかりやすい吻合方法が示された。開催に向けての話し合いが行われたが、第1回目のシナリオがあったため、多少の変更のみでかなり円滑に進んでいることが実感された。

### 4. 開催前日(2016年9月1日)

広報委員会委員、JESUS 実行委員会および講師の先生方の一部のメンバーが前日に熱海入りした。全員で前日の打ち合わせが行われたが、講師陣の人数が増加し、また新メンバーの加入により活気のある雰囲気が感じられた。前回は

機器の搬入が夜から始まり、ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社の皆さんが苦勞されたため、今回の機器搬入は午後から始まり設備の設営も早い時間に問題なく終了した。

## 5. 開催日（2016年9月2日，3日）

前回，各グループの自己紹介をする時間がないことが問題として挙げられた．今回は，1日目の開会式の前に昼食を用意し，各グループで食事をしながら自己紹介をする時間を設けた．また各講師も各グループの席に配属されて，親交を深めた．この昼食会はグループの絆を強くしたようで，和気藹々の雰囲気作りにかなり有益であった．

昨年同様，開会式の後に各班5，6名ずつ18班に分かれ，さらにAからDの4つのグループに配属された．4つのグループが各々腸管吻合，トレーニングボックスを用いた縫合結紮，シミュレーターを用いた手術手技，セミナーを開始した．昨年は腸管吻合を完成できた人はほとんどいなかったが，今回はビデオの撮り直しでよりわかりやすく簡便な吻合法に変えたため，多くの参加者が完遂でき，満足感が得られていた．

前回と同じく，全体を通じて時間が限られていたため，参加者はそれぞれのプログラムに対して，懸命に取り組んでいた印象であった．夕

## 6. アンケート結果

前回に比べ，アンケートに答えた参加者は69名（66%）であり少なかった．次回は全員からアンケート結果が得られるように，アンケートの時間を十分に確保する必要がある反省材料であった．今回の経験があなたの今後に大いに役立つ91%，少しは役立つ9%で全く役に立たないは0%であった．JESUSに参加し消化器外科を専

## 7. 今後に向けて

2回目のJESUSが終了したが，前回に比べ円滑な運営であったと感じられた．この陰には参加した委員，講師陣，ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社の皆さんの多大なるご尽力があったことは言うまでもなく，心より感謝申し上げます．すでに2017年9月15

食までの空き時間は，休憩および入浴時間にもあてられていたが，トレーニングボックスがすべて使用され，待ちが出る程，多数の参加者が頑張っていた．

夕食では昨年より各グループ内で紹介が終了していたため，参加者はかなり和やかな雰囲気であった．シミュレーターを用いた手術手技の高得点者の表彰，又木雄弘先生の昨年より，一層進化がみられたクイズ大会は大いに盛り上がった．その後，2部屋に分かれて講師陣と参加者の間でスモールミーティングが行われ，外科の魅力や外科医の将来像などについて夜遅くまで話の花が咲いた．

2日目は，朝一番に記念撮影を行った（図1）．その後，トレーニングボックスを用いた縫合結紮のコンテストが行われた．この2日間で手技が飛躍的に進歩した参加者も多く，講師陣もびっくりしていた．各グループ代表のあいさつでセミナーの幕を閉じた．

攻される気持ちになりましたか，の質問には大いになった62%，少しなった38%であった（図2）．次回JESUSが開催されたら，の質問には，後輩，友人に勧める78%，後輩，友人にとりあえず勧めてみる22%であり，満足度は高かったと考えられた．

～17日に次回JESUSの会場を予約した．今回の参加者が後輩，友人に口コミで勧めて輪が広がっていくことを期待したい．この地道な皆さんの努力が一人でも多くの消化器外科医の増加につながることを願って活動を継続させたいと思う．



図1 集合写真

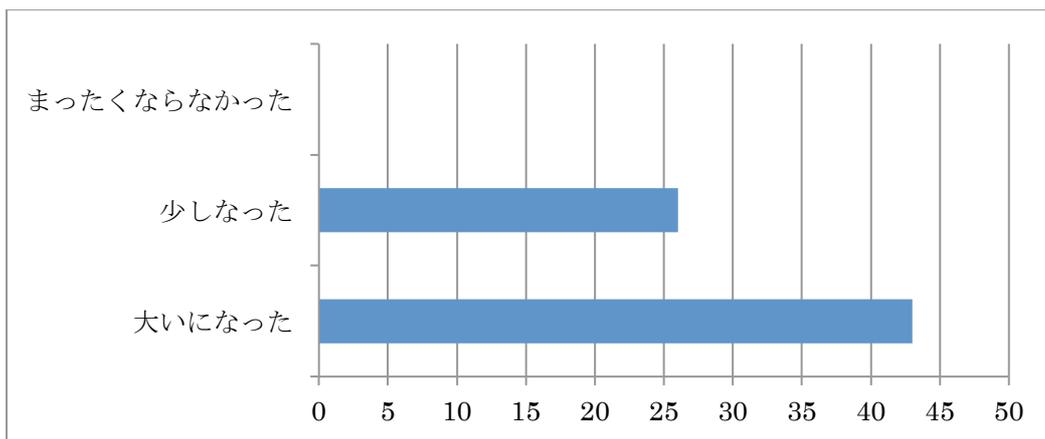


図2 JESUSに参加し消化器外科を専攻される気持ちになりましたか